

特定非営利活動法人アースマンシップ設立趣旨書

私たち人間は、他の多くの命と共に、何十万年という歳月をこの地球上で生きてきました。そしてすべての命の点がつながって線になり今に至っています。

私たち一人ひとりの命はこの地球の大自然によって生かされ、私たちの社会もそれによって成り立っています。しかし現代社会の中で、私たちはそのことを忘れがちです。そしてその結果、すべてを自分の力で為しているという錯覚、また自分で為さねばならないという力み（りきみ）が生まれています。

また、資本主義経済が突き進む中で、よりたくさんお金をもつことがよいとされ、そのためにはよりよい会社に入ることが重要で、そのためにはよりよい大学に行くことが重要で、そのためにはよりよい高等学校、中学校、小学校、幼稚園…。大人たちは善かれと思って、早い段階から子どもたちに期待を込めて負荷をかけるようになってきました。

いずれも「生かされている」という一番大切なことを忘れてしまった結果です。

そして何が起きたか。

- 日々の生活や勉強に追われ、自然とのつながりを感じる時間や場所が非常に少なくなりました。それと同時に、あるいはその結果、私たちが生きる土台となる（あるいは私たちの身体の一部である）地球や自然が破壊されています。しかし、私たちの多くはその重大性に気づくことができずにいます。
- お金が生活の重要な要素となり、お金で解決することが増えました。本来は自分が身をもって行うことで自然とつながる機会を得たり、命の意味を知ることができる労働の多くを自分では行わず、お金を介して他の人にさせています。
- お金を介在させて解決することが増える中で、実体験が圧倒的に欠落し、バーチャルな経験のみを持つことが増え、生身の人間として隣人を思いやることができなくなるなど、実体験とバーチャルな体験の違いがわかりにくくなってきています。
- 「忙しい＝充実している＝優秀である」という錯覚が生まれ、いつも先のことを気にして「今」を生き切れていない状況が増えています。
- 知識至上の考えが主流になり、五感を使うことを放棄しているような状況が生まれています。
- 子どもの頃から受け身であることが常態化し、自分自身としっかり出会う時間ももてず、常に周りと比較られるなど、自分の軸を形成することができないまま年を重ねた結果、自分に自信をもてない人が増え、そこから生まれる不要な自己主張と自己顕示も目立っています。
- 自分の軸がないまま 与えられたことをこなす生活を続けることで、生きる元気や活力、意味を見失っている人がたくさんいます。

「命に優劣はなく、すべての命がつながりながら、この地球と共に、満たされた思いと感謝の心をもって暮らす生き方を体現したい」

アースマンシップはこの思いを元に1996年4月から任意団体として活動を始めました。

その目的はひと言でいうと、人が自然とつながることで自分の命を丸ごと受け入れ、謙虚にそして喜んでその役割を全うできるようにお手伝いすることです。

今後はアースマンシップの思いをよりきめ細かく実現させるため、活動を継続させることを目標のひとつに加え、より多くの人々の協力を得て、人間教育の拠点となれるよう、この場を育てていきたいと思えます。

そしてそのためには、今までの任意団体という形ではなく、NPO法人という形で働かせていただくことがよりよい道であると考えました。

アースマンシップが目指すことは：

1. Mother Earth & Father Sky の意味を理解する

太古から大地と共に生きてきた先住民は、大切なものとして「母なる地球」そして「父なる空」の二つを挙げます。

「母なる地球」という言葉に込められているのは、この大地、自然とつながることの大切さ。

「父なる空」は、人間を越えた大いなる力を認め恐れ崇める心をもつことの大切さを表わしています。

アースマンシップはこの二つが非常に重要であると考えます。

そしてそれによって培われる「野性の勘」をもう一度自分たちの手に取り戻すこと。つまり何が自然で、何が不自然かが知識や理屈がなくてもわかる私たちに戻ることが大切であると考えます。

2. 丸ごとの自分を認め、自分を生きる

「自然が教えてくれること

人はみな 何ができてできなくても そのいのちは尊く かけがえがないということ」

これはアースマンシップの願いの一節です。

私たちはひとり残らず、役割をもってこの地球上に生まれてきています。そしてその役割は、できる部分とできない部分をもちあわせているからこそ与えられる役割です。

できる部分だけがよい事と考えず、できない部分にもその役割があることに気づくこと、

そしてまずは自分自身が丸ごとの自分を認めることからすべては始まります。

その結果、それがその人の軸となり、より主体的に生きる道が開かれます。「自分」がほんとうは何を求めているのか、何がしたいのかがわかることは、自分を生きるための第一歩です。

3. よりよく生きる

自分のヴィジョンを求め、その役割を真摯に全うすることが、よりよく生きる道につながります。

そしてそのためには謙虚な心が必要です。

よりよく生きるということは、心身共により健やかに生きることであり、人間が本来あるべき姿に近づくことでもあります。

アースマンシップは、上記を目指す目標とし、それぞれが達成できるための必要な学びと修養の場を提供したいと考えます。そして同時にアースマンシップも人々と共に学び続け成長し続けたいと願います。

平成25年10月26日

設立代表者 住所又は居所
東京都武蔵野市吉祥寺本町4丁目18番11号

氏名 岡田 淳